



1 派遣対象地域

全国（広島市外）

2 申込区分（派遣先での実施内容）

●被爆体験伝承講話（開催時間 60 分）

被爆体験伝承者（1名）により、被爆者から受け継いだ被爆体験や平和への想い、併せて被爆の実相（戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要、原爆の人体への影響等）や被爆体験伝承者としての平和への思いなどをお話します。

プレゼンテーションソフトなどを用いてわかりやすく説明します。

○被爆体験伝承者

広島市が平成24年度から養成しています。3年間の研修を修了した後、公益財団法人広島平和文化センターの委嘱により、被爆者から被爆体験や平和への想いを語り継ぐ者として、平成27年度から活動しています。

●被爆体験証言講話（開催時間 60 分）

被爆者ご本人である被爆体験証言者（1名）により、ご自身の被爆体験や平和への思いなどをお話します。

●被爆体験記朗読会（開催時間 60 分）

被爆体験記朗読ボランティア（2名）により、被爆のことを直接知る者のみ書きうる真実や心情が綴られた体験記、原爆詩を朗読します。想像力を働かせ、目を閉じて情景を思い浮かべながら聞いていただきます。

家族や友人を失った悲しみ、焼け野原となった町の混乱などが目の前の出来事のように臨場感を持って伝わってきます。

- （プログラム）
- ①原爆の被害についてのDVD放映（約8分間）
 - ②被爆体験記・原爆詩の朗読
 - ③聴講者による原爆詩の朗読体験
 - ④聴講者から感想や意見発表

○被爆体験記朗読ボランティア

フリーアナウンサーや劇団員またはその経験者などが、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に登録し、平成17年3月から活動しています。

3 派遣対象

小学校、中学校、高等学校、大学、自治体などが主催し、平和に関して学ぶ目的で行う平和学習等の場に派遣し、政治・宗教・営利を目的とする集会等は除きます。

ただし、被爆体験証言者の派遣については、同一年度内に広島市内で被爆体験証言講話を聴講する団体や修学旅行の事前学習は対象外とします。

4 申込回数

申込回数は、被爆体験伝承講話、被爆体験記朗読会、被爆体験証言講話のいずれかを、1年度内に1団体1回のみとします。また、広島、長崎両方への申し込みは出来ません。

5 派遣期間

4月から翌年3月までの1年間。土曜、日曜、祝日においても派遣できます。

6 派遣費用

派遣に必要な旅費（交通費、宿泊費等）、謝礼金は、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が負担します（被爆体験証言者の派遣については、12月から翌年3月までの4カ月間に行う等の条件を満たす場合）。

ただし、会場経費など開催に要する費用は、いずれの派遣も申込者のご負担となります。また、被爆体験証言者の派遣について、ご本人が職員等の随同行を希望する場合、随行に係る費用は申込者のご負担となります。

なお、花束やお土産などの贈呈品はご遠慮ください。

7 申込期限

申込期限は、原則として派遣希望月の3カ月前の月の月末まで。12月が申込最終月です。

（例）7/16 派遣希望の場合の〆切 ⇒ 4/30 （ただし4月派遣は2月末日）

なお、派遣可能件数に達した場合には受付を締め切らせていただきます。

8 聴講者

被爆体験伝承講話、被爆体験記朗読会の聴講者は概ね20名以上とし、被爆体験証言者は概ね40名以上とします。

なお、小学校の場合、いずれも低学年の児童には難しいため、4年生以上の高学年を対象とします。

9 開催回数

一つの申込で原則、2日以内、1日2回までとします（全体で4回以内）。

1日2回の場合は、午前1回、午後1回とします。

10 開催日

原則、ご希望の開催日に派遣しますが、派遣者の調整などで変更が必要となる場合、連絡のうえ調整をさせていただく場合があります。

なお、12月30日、31日は除きます。

11 開催時間

- (1) 開始から終了までの開催時間はいずれも60分ですが、開始時の紹介や終了時の質問、挨拶等の時間を考慮し、全体の所要時間は1時間30分確保してください。学校の場合は、授業2コマの間で開催してください。
- (2) 希望の開催時間に派遣しますが、会場までの移動時間の関係などで変更が必要な場合には、連絡のうえ調整させて頂く場合があります。
なお、広島から会場までの移動時間が概ね5時間以上かかる地域は、午前中の開催としてください（前泊とするため）
- (3) 夜間の開催を希望される場合、終了時間は午後8時までとしてください。
ただし、被爆体験証言講話の終了時間は、午後5時までとします。

12 派遣先の決定

派遣先の決定は、原則として申込書の受付順です。受付は、申込が国立広島原爆死没者追悼平和祈念館へ到達した日時とします。被爆体験証言者の派遣先の決定は10月末頃になります。

13 申込者の準備物

開催する会場には、次の機器等を準備してください。

●被爆体験伝承講話

ほとんどの被爆体験伝承者はプレゼンテーションソフトを用いてお話しします。また、聴講者が概ね50名以上の場合はマイクを準備してください。

派遣者は、パワーポイントのデータをUSBフラッシュメモリーに登録し、このUSBフラッシュメモリーのみを持参します。パソコンのセキュリティーのため外部メディアを使用できない場合は、ご担当者個人のパソコンをご用意いただくなどの対応をお願いします。※対応が難しい場合にはご相談ください。

（準備物）

机1台、椅子1却、マイク1本、レーザーポインター1本、パワーポイントが操作可能なパソコン及び上映用プロジェクター並びにスクリーン一式

●被爆体験証言講話

一部の被爆体験証言者はプレゼンテーションソフトを用いてお話しします。また、聴講者が概ね50名以上の場合はマイクを準備してください。

派遣者がプレゼンテーションソフトを用いる場合、パワーポイントのデータをUSBフラッシュメモリーに登録し、このUSBフラッシュメモリーのみを持参します。パソコンのセキュリティーのため外部メディアを使用できない場合は、ご担当者個人のパソコンをご用意いただくなど、可能な範囲での対応をお願いします。※対応が難しい場合にはご相談ください。

（準備物）

机1台、椅子1脚、マイク1本、レーザーポインター1本、パワーポイントが操作可能なパソコン及び上映用プロジェクター並びにスクリーン一式

●被爆体験記朗読会

ボランティアは立って朗読を行います。聴講者が概ね 50 名以上の場合はスタンド付きワイアレスマイク 2 本を設置してください。

冒頭で約 8 分間の DVD を上映します。DVD 上映のためのプロジェクター及びスクリーン一式を必ず準備してください。

朗読テキストを追悼平和祈念館で参加人数分ご用意（宅配）します。

（準備物）

椅子 2 却（机は不要）、マイク 2 本、マイクスタンド 2 本、DVD を上映できるプロジェクター及びスクリーン一式

14 派遣者の出迎え・送迎のお願い

派遣者が土地勘のない地域の場合、会場入りが遅れるなどのトラブルが想定されるため、確実に会場へ着けるよう、最寄り駅までの出迎えまたは車等での送迎をお願いしています。最寄り駅から会場まで徒歩で概ね10分以上要する場合は、車での送迎をお願いします。

15 開催結果報告書の提出

終了後、開催結果報告書を開催日の翌日から10日以内に電子メールで送信してください。

また、開催風景を写真撮影し、この報告書に 2 枚（会場全体の様子・派遣者の正面）添付してください。様式はトップページでダウンロードできます。

